※令和４年度以降入学生用

学校番号	107

令和８年度　音楽科

教科	音楽	科目	演奏研究Ⅲ	単位数	１単位	年次	３年次
使用教科書	Joy of Music（教育芸術社）						
副教材等	ミニスコア２冊						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・３年生の演奏研究は、年間を通して全専攻が合同で行います。
・教科書、筆記用具、五線紙・プリントを閉じるためのファイル、後期は５線紙、ノートを必ず持参してください。
・前期は管弦打楽器専攻・声楽専攻・ピアノ専攻から合計４～５名の班を、もしくはピアノ２名の班を組み、アンサンブルを行います。楽曲の編曲や分析を行い、実際に編曲した楽曲を最後には実演します。
・これまでに学んだ音楽理論や専攻実技の知識や技能を応用し、編曲や記譜する力、アンサンブルによって音楽を構成、演奏する力を総合的かつ実践的に身につけます。
・後期は、オーケストラのスコアリーディングを中心に、名曲の秘密を音楽理論・音楽史・演奏法の総合的な視点から捉えて学びます。

2　学習の到達目標

音楽作品の演奏や鑑賞の学習を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、専門的な音楽に関する資質・能力を次の通り育成することをめざす。
【知識及び技能】演奏における客観性と多様性について理解を深めるとともに、理解したことを生かした演奏をするために必要な技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】音楽の様式をふまえた演奏に関する思考力、判断力、表現力等を育成する。
【学びに向かう力、人間性等】音楽作品を尊重して演奏したり鑑賞したりする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・演奏や鑑賞の学習を通して、楽譜に基づいて演奏者がどのような解釈をしたか、時代や様式及び演奏形態などに即した表現方法や解釈があることについて理解をしている。【知識】 ・自らの演奏を振り返りながら、また楽曲がうまれた時代や地域、楽器等によって特徴が異なる音楽の様式を演奏者によってどのように表現しているかなど、客観性と多様性を踏まえ、自らも器楽で表している。【技能】	・時代や地域、楽器等による表現上の特徴や個々の作曲家の表現上の特徴などを踏まえ、どのように演奏するかについて表現意図を持っている。また専門実技で培った知識・技能を生かし、自分や他者の演奏が音楽の様式を踏まえた演奏となっているかどうかについて思考、判断し、表現する一連の過程を位置づけながら、どのように演奏するかについて表現意図を持っている。	時代や地域、楽器、作曲家等の表現上の特徴を踏まえて作品を解釈したり、様式等に即した演奏を追求することに関心をもち、音楽作品を尊重して演奏したり鑑賞したりする態度で主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	名曲の良さをスコアを通して知る・編曲とアンサンブルに取り組もう！	①　ガイダンス ・班分けと編曲法について ・選曲の注意 ・学内演奏会までの流れ ②進行状況レポート ・毎時間の進行状況と、与えられた時間の計画を立て、毎時間提出する ③編曲の中間審査 ④アンサンブルの練習 ・演奏するために必要なアンサンブル力について →息を合わせる →音楽の仕組みを知る →音楽構成についての解釈を一致させる ⑤学内アンサンブル演奏会の実施 ・優秀な班は定期演奏会のアンサンブル部門に出場できる場合もある。	a:　原曲が作曲された作曲者の意図や時代の様式の良さを理解している。　【知識】 これまで学習した音楽理論などの知識を応用して自分たちのアンサンブルに相応な編曲を行い、その音楽表現に必要な技術、奏法を身につけている。　【技能】 b:　編曲した作品を実際にそれぞれの専攻の楽器または声楽の技能を生かし、原曲と自らの編曲した意図を持って創造的に演奏している。 c:　毎時間の進行状況や学習したポイント、本番までの予定表をこまめに記述し、計画性を持って主体的に取り組んでいる。	ワークシート 編曲作品 演奏聴取 発表	ワークシート 演奏聴取 発表	ワークシート 発表 相互鑑賞 振り返りシート
後期	歴史を超えた名曲が名曲たる理由を探ろう！	①オーケストラスコアの読み方を学ぶ ②オーケストラの仕組みと特徴 ③モーツァルトの名曲を鑑賞 ・名曲である理由をグループごとにディスカッションして、班ごとに話し合ったことを発表する。 ④音楽理論から見た視点で、曲の構成を理論的に学習する。	a:オーケストラスコアや曲の構成等を理論的に理解している。　【知識】 楽曲を理論的に分析し、ディスカッションすることができる。　【技能】 b:　音楽の諸要素と表現の関係性を捉え、どのような演奏表現がふさわしいか思考、判断することができる。 c:　楽曲やスコア、楽器編成、曲の構成等に関心を持ち、鑑賞・ディスカッションに主体的に取り組もうとしている	ワークシート ペーパーテスト	ワークシート ペーパーテスト	ワークシート 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度